

Solar Link ZERO の取り扱いについて

◆◆◆◆ お使いいただく前に必ずご確認ください ◆◆◆◆

この度は弊社製品をご導入頂き誠にありがとうございます。
以下の項目をご確認の上、お取り扱いいただきますようお願い申し上げます。

■ 製品の構成

Solar Link ZERO の基本構成は以下の通りです。
(モニタはお客様でご用意いただく場合がございます。)



■ Solar Link ZERO の電源

Solar Link ZERO には電源スイッチがありません。専用 AC アダプタで電源が供給されると起動します。
計測開始後の突然の停電が発生した場合、AC アダプターを抜いて強制終了した場合、それ以前の数分間のデータが失われます。

■ Solar Link ZERO の停止と終了

終了させる場合は、「タクトスイッチ」の操作と画面の確認を行って、正しい手順で「停止」と「終了」を行ってください（詳しくは右側の「1. ZERO 本体の起動・停止と終了」をご確認ください）。

A 面

お使いいただく前に必ずご確認ください

1. ZERO 本体の起動・停止と終了

正しくデータを計測・表示するために

- 数日程度、Solar Link ZEROに電源が供給されなかった場合は日時の設定が必要です。その際、画面確認用にPCモニタ等とUSB接続の有線マウスが必要となります。
- Solar Link ZERO本体の電源や変換器の電源は、メンテナンス操作を行う時以外は切らないでください。データの記録や集計が行えなくなります。また、計測中はSolar Link ZEROに専用USBメモリが挿入されている事を確認してください。専用USBメモリが挿入されていないとデータは記録されません。
- 専用USBメモリ内のデータバックアップを定期的に取得することを推奨します。
- 定期的な掃除を推奨します。埃などが溜まると機器類が故障する恐れがあります。

停電があった場合、Solar Link ZERO は日報や月報のデータを記録できません。
計画停電など、事前に停電がわかっている場合は Solar Link ZEROを終了してください。

1. ZERO 本体の起動・停止と終了

■ ZEROの起動

専用USBメモリの挿入を確認し、専用ACアダプタで電源を供給すると起動します。
※ ZEROには電源スイッチがありません。電源の入り切りは、ZERO本体基板保護の為に、ZERO本体側のACアダプタのプラグではなく、ACコンセント側の抜き差しをお奨めします。

■ 停止と終了

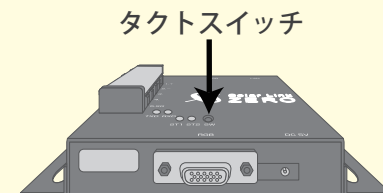
Solar Link ZERO本体にあるタクトスイッチを6秒以上押した後、離します。

※ タクトスイッチの押下時間と動作

3秒未満	画面切替
3秒以上 6秒未満	再起動
6秒以上	停止

ディスプレイ上で現れた文字の最後の行に「System halted.」と表示されていれば停止状態です。

この確認後にACアダプタを抜いてZEROを終了します。
※ この状態で専用USBメモリの取り外しが出来ます。
※ Solar Link ZEROを起動させる場合はACアダプタを挿します。



```
Exiting Syslogd!  
Syncing all filesystems:  
Unmounting all filesystems:  
The system is going down NOW  
Sending SIGTERM to all proce  
Sending SIGKILL to all proce  
The system is halted. Press  
System halted.
```

2. 画面の変更方法 (※Windowsパソコンが必要です)

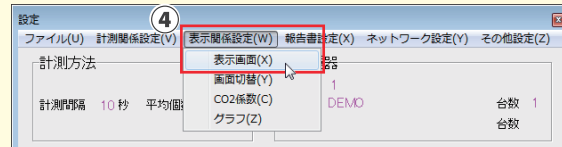
表示させたい画面ファイル (写真または画像) を用意します。

データ仕様: JPEG形式・800 x 600 pixel・ファイルサイズ 1MB以下
ファイル名: 半角英数字に限る 拡張子 [.jpg] は小文字

① ZERO本体を停止・終了し、ZERO本体から専用USBメモリを抜き、Windowsパソコンに挿入します。※ZERO本体を終了する前に、専用USBメモリを取り外さないで下さい。

② 専用USBメモリ内に画面ファイルをコピーします。

③ 専用USBメモリ内の【conf】または【conf.exe】プログラムをダブルクリックして「設定」を表示します。



④ 【表示関係設定】メニューの【表示画面】をクリックします。

⑤ 【画面数】で表示させたい枚数 (1~5枚) を選択し、【NO.】で数字を選びます。【参照】から表示させたい画面ファイルを選択し、【OK】をクリックして表示画面を閉じます。



⑥ 【表示関係設定】メニューの【画面切替】をクリックします。

⑦ 【表示パターン】の【任意設定】をクリックします。

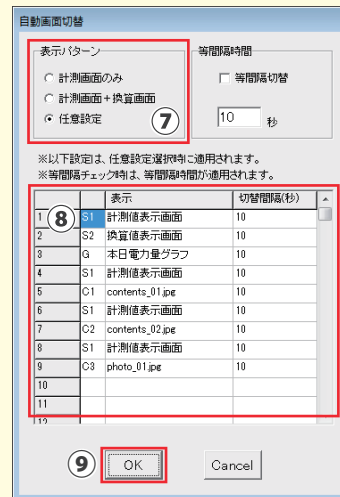
⑧ 表示列の画面を選択し、それぞれ切替間隔を設定します。

⑨ 【OK】をクリックして画面を閉じます。

⑩ 【ファイル】メニューの【終了】をクリックし、設定プログラムを終了します。

⑪ パソコンから正しい手順で専用USBメモリを抜き、ZERO本体に挿入してZEROを起動します。

⑫ 起動後に計測画面等の表示内容を確認します。



3. 計測データの確認 (表示とバックアップ)

■ ZERO本体での画面での確認

本体のタクトスイッチを1回押すと今年度の発電量 (月毎) の画面に切り替わります。もう一度押すと昨年度の発電量 (月毎) の画面に切り替わります。もう一度押すと計測画面に戻ります。

■ 専用USBメモリの計測データの確認 (※Windowsパソコンが必要です)

ZERO本体を停止・終了し、ZERO本体から専用USBメモリを抜き、Windowsパソコンに挿入します。※ZERO本体を終了する前に専用USBメモリを取り外さないで下さい。

挿入した専用USBメモリ内の【dat】フォルダを開きます。フォルダ内に下記の種類のデータファイルがあることを確認します。(2014年9月30日の例)

ファイル名	タイプ	データ単位
140930.csv	詳細	1分毎
d140930.csv	日報	1時間毎
m1409.csv	月報	1日毎
y2014.csv	年報	1ヶ月毎 (1月~12月)
report2014.csv	年度報	1ヶ月毎 (4月~翌年3月)

必要なファイルをコピーしてパソコン本体へ保存します。

※専用USB内の「dat」フォルダを切り取ると、「データフォルダが認識できません。」と表示されZEROの計測が正しく行えません。

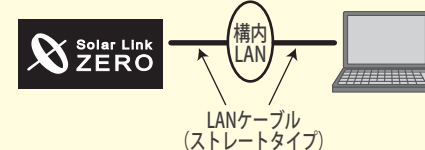
※コピーしたデータは「メモ帳」や「Microsoft Excel」から見るができます。

4. ネットワーク機能を利用する (閲覧とダウンロード)

■ Webアプリケーションでできること (詳しくは「Webアプリケーション取扱説明書」を参照)

- ◇ 現在の計測データの表示 (注: 画面は自動更新しません) 「4.1 発電状況画面」を参照
- ◇ 過去の計測データの画面表示 「4.2 データ画面」を参照
- ◇ 過去の計測データのCSVダウンロード 「4.2 データ画面」を参照
- ◇ 設定の変更 (一部のみの) 「4.3 設定画面」を参照

■ ZERO本体とWindows PCを構内LAN経由で繋ぐ



■ ZERO本体とWindows PCを1対1で繋ぐ (TCP/IP接続のパワコン使用時は不可)

